

シューベルト作品を披露

17日・プラバホールで

ミュージックラボC-203が企画



第1回目のテノール・リサイタルの様子＝6月4日、
松江市西津田のプラバホール

演奏企画や音楽研究を行うミュージックラボC-203（松江市竹矢町、野津良佑代表）によるリサイタル・シリーズ21の第2回目の演奏会「シューベルトティアーデ01」が17日、松江市総合文化センタープラバホール（同市西津田）である。

同団体は、音楽を通して豊かな心の輪を広げ、世界平和につなげたいという思いから昨年6月に設立。今年6月にはリサイタル・シリーズ21の第1回目として同ホールでテノール・リサイタルを開催している。

17日の「シューベルトティアーデ01」では、

近年数々のコンクールで入賞し注目されている若手ピアニスト室井悠季さんとテノール歌手でもある野津代表が歌曲王として知られるフランツ・シューベルト作品やヨーゼフ・マルクスの作製を披露する。

開演は午後7時（開場は6時15分）。参加費は一般1500円、学生1000円、子ども700円。ホームページや電話、メールで取り扱っている。問い合わせは（電話070・5558・1897）まで。